

## 現地調査内容（案）

■ : 車中からの確認

エリア	現地調査項目	審議の論点のうち 重点確認項目 他	設備概要 等
屋外 標高84m	海水ポンプ予備モータ	(自主対応設備)	非常用ディーゼル発電機などの安全系機器に冷却用海水を供給するための海水ポンプの予備品。(3号用:1台)
	重油タンク	電源の信頼性	【電源要求機能】 非常用ディーゼル発電機、緊急時対策所非常用発電機への燃料補給用タンク。
	軽油タンク	シビアアクシデント対策 ①炉心損傷防止対策等	【重大事故対処設備】 各ポンプ車への燃料補給用タンク。
	ミニローリー車	電源の信頼性	【電源要求機能】 非常用ディーゼル発電機、緊急時対策所非常用発電機への燃料補給用。
	ゼオライト	シビアアクシデント対策 ③放射性物質拡散抑制対策	【放射性物質拡散抑制設備】 海洋への放射性物質の拡散を抑制する。
	構内樹木(森林火災関係)	自然現象に対する考慮 (森林火災)	【外部からの衝撃による損傷の防止】 森林火災評価による火線強度の強い箇所、追加伐採する箇所。
	斜面確認	耐震性能	【地震の波及的影響(アクセスルート周辺斜面)】 パノラマ館南東側斜面。
屋外 標高32m	各種ポンプ車	シビアアクシデント対策 ①炉心損傷防止対策等	【重大事故対処設備】 中型ポンプ車・・・原子炉および使用済燃料ピットへの海水注水、原子炉格納容器再循環ユニットへの海水供給(過圧破損防止)。加圧ポンプ車・・・中型ポンプ車と連結し、原子炉低圧時の冷却に使用。大型ポンプ車・・・放水砲と連結し、原子炉格納容器、使用済燃料ピットに放水、放射性物質の拡散抑制を図る。
	大型放水砲	シビアアクシデント対策 ③放射性物質拡散抑制対策	【重大事故対処設備】 大型ポンプ車と連結し、原子炉格納容器、使用済燃料ピットに放水、放射性物質の拡散抑制を図る。
	代替炉心注入配管接続口	シビアアクシデント対策 ①炉心損傷防止対策	【重大事故対処設備】 ポンプ車から接続し、建屋外部から炉心に注入できる接続口。
	空冷式非常用発電装置	電源の信頼性	【電源要求機能】 外部電源および非常用ディーゼル発電機機能喪失時の常設非常用発電装置。 (1825kVA電源車×2台)
	電源車(300kVA、75kVA)	電源の信頼性	【電源要求機能】 300kVA・・・全交流電源喪失時の可搬型電源。 75kVA・・・全交流電源喪失時の可搬型直流電源。
	亀浦配電線	(自主対応設備)	電源の多様化を図るため亀浦変電所から配電線(66kV)を敷設。
	3号南側斜面確認	耐震性能	【地震の波及的影響(アクセスルート周辺斜面)】 3号南側斜面。

エリア	現地調査項目	審議の論点のうち 重点確認項目 他	設備概要 等
屋外 標高10m	海水ピットエリア (海水ポンプ、堰、水位計 など)	・耐津波性能 (自主対応設備) ・自然現象に対する考慮 (竜巻)	【既設】 ・海水ポンプ 【耐津波機能】 ・堰・・・海水ポンプの取水機能を保持する ため、引き津波時に「閉」動作するフラップ ゲート付き堰を設置。(写真にて説明) ・海水ピット水位計・・・海水ピット内 T. P. +5.0mに設置。 【外部からの衝撃による損傷の防止】 ・マンホールなどの飛散防止対策。
	可搬設備保管場所(分散配 置) ・各種ポンプ ・電源車(300kVA、75kVA)	・シビアアクシデント対策 ①炉心損傷防止対策等 ・電源の信頼性	【重大事故対処設備】 中型ポンプ車、加圧ポンプ車 【電源要求機能】 300kVA電源車、75kVA電源車
原子炉 格納容器 内	原子炉格納容器 再循環ユニット (ダクト開放機構)	シビアアクシデント対策 ②原子炉格納容器破損 防止対策	【重大事故対処設備】 重大事故時には原子炉格納容器再循環ユ ニット空調ダクトが水没することを想定 し、上方にダクト開放機構を設置、更にユ ニット冷却コイルに海水も通水可能とす ることで、原子炉格納容器内の水蒸気を凝縮 させ、自然対流による循環冷却で圧力を抑 制する。
	静的触媒式水素再結合装置	シビアアクシデント対策 ②原子炉格納容器破損 防止対策	【重大事故対処設備】 事故時、格納容器内で発生した水素が触媒 プレート表面で空気中の酸素と反応して水 蒸気に変換され水素濃度を低減する。(駆 動源不要)
	イグナイタ	(自主対応設備)	静的触媒式水素再結合装置のバックアップ として自主設置したもので、事故時の原子 炉格納容器内での水素発生時に、電気式水 素燃焼装置により強制的に水素を燃焼さ せ、水素濃度を低減する。 (ヒータにより水素温度を上昇、水素と酸 素の結合を促進させる)
管理区域	使用済燃料ピット周り (小型放水砲、計器、クレーン他)	・シビアアクシデント対策 ・耐震性能	【重大事故対処設備】 ・小型放水砲・・・使用済燃料ピット水位が 異常に低下した場合、中型ポンプ車で汲み 上げた海水を小型放水砲からスプレーし、 燃料の著しい損傷を緩和する。 ・水位計・・・使用済燃料ピット内燃料の冠 水状態を監視できるよう、燃料上端近傍ま でを計測範囲とする水位計を設置。 【地震の波及的影響(基準地震動による使 用済燃料への影響評価)】 ・使用済燃料ピットクレーン
	代替原子炉格納容器スプレ イポンプ	シビアアクシデント対策 ①炉心損傷防止対策等	【重大事故対処設備】 原子炉格納容器スプレイポンプ機能喪失時 に、原子炉への注水、原子炉格納容器スプレ イ、原子炉格納容器下部に落下したデブリ への注水を行うために設置。
	窒素ボンベ(加圧器逃がし 弁用)	シビアアクシデント対策 ①炉心損傷防止対策	【重大事故対処設備】 加圧器逃がし弁作動用空気が喪失した時の 代替となる窒素ボンベを設置。 加圧器逃がし弁は、事故時、一次冷却材系 統の圧力が上昇した場合に、加圧器の蒸気 を逃がすことで減圧するための圧力制御 弁。

エリア	現地調査項目	審議の論点のうち 重点確認項目 他	設備概要 等
	高圧注入ポンプ (浸水防止堰、冷却用海水放出配管)	・内部溢水に対する考慮 ・シビアアクシデント対策 ①炉心損傷防止対策	【溢水による損傷防止】 浸水防止堰・・・高圧注入ポンプ室内における溢水から補助油ポンプを保護するため、補助油ポンプ周りに堰を設置。 【重大事故対処設備】 高圧注入ポンプ冷却用海水放出配管 ・・・事故時に、高圧注入ポンプの冷却水(原子炉補機冷却水)が喪失した場合でもポンプの運転が継続できるよう、冷却水として海水を供給できるよう配管を設置。
	原子炉格納容器スプレィポンプ 自己冷却配管	(自主対応設備)	事故時に、原子炉格納容器スプレィポンプの冷却水(原子炉補機冷却水)が喪失した場合でもポンプの運転が継続できるよう、ポンプ吐出配管から冷却水を供給できるよう自己冷却配管を設置。
管理区域外 (建屋内)	蒸気発生器代替注水ポンプ	(自主対応設備)	蒸気発生器への給水は、既設のタービン動補助給水ポンプ(1台)と電動補助給水ポンプ(2台)があるが、代替注水機能の強化を図るため、同等の機能を有するポンプを設置。
	中央制御室 (放射線監視装置、マスク、フロアケーブルダクト、津波監視設備)	・シビアアクシデント対策 ・火災に対する考慮 ・耐津波性能	【原子炉制御室等】 放射線監視装置、通信設備、マスクなど 【火災による損傷の防止】 フロアケーブルダクト消火設備 ・・・火災による損傷拡大防止の観点から、ハロン自動消火設備を設置。 【耐津波機能】 津波監視設備・・・原子炉建屋屋上に設置した海面監視カメラの映像により中央制御室にて津波監視が可能。
	タービン動補助給水ポンプ	(既設)	タービン動補助給水ポンプ
	蓄電池室	電源の信頼性	【電源要求機能】 全交流電源喪失事故時に、直流電源について、負荷切り離しを行わずに8時間、その後必要な負荷以外を切り離して16時間電源供給が可能な蓄電池設備。
	水密扉	耐津波性能	【耐津波機能】 津波に対する信頼性向上の観点から、原子炉建屋海側の扉、貫通部に対し、T.P+14.2mまでの浸水対策を実施。
その他	緊急時対策所 (通信設備、換気空調設備、非常用電源、可搬型代替モニタ)	・シビアアクシデント対策 ④指揮所等の支援機能の確保 ・耐震性能	【緊急時対策所】 各種通信設備、換気空調設備、非常用予備発電装置、可搬型代替モニタ 【耐震機能】 免震構造
	訓練設備(コチキホール)	—	緊急時対応訓練設備(配管接続訓練、ケーブル接続訓練 など)